

輝 ねむろ

We Love Nemuro!

「今年の流水初日は、平年より11日早い1月31日となりました。」と話すのは、毎日午前9時を観測時間として、市役所の展望室に足を運び、流水を観測している船山岩雄さんです。

平成22年10月に根室測候所が廃止となり、昭和35年から測候所が行ってきたチンマザクラの開花と流水観測が、根室市と観光協会に引き継がれました。その際に、根室測候所で勤務の経験のある船山さんに、釧路地方気象台から観測の力になって欲しいとの後押しもあり、観測への協力となりました。「自然が相手の

観測は、少しの時間でも状況が大きく変わるので、本当に難しいですね。一日一日が、勉強の毎日です。」と、この1年を振り返ります。

観測を通じて出会えた人たちの笑顔はもちろん、根室の自然の素晴らしさを再確認できたことがうれしいと話す船山さん。流水が去り、全国から桜前線の話題が流れ出すと、2度目の開花宣言への観測が始まります。「最東端のまち根室から、全国に発信されるこの観測が、いつまでも途切れることなく続いてほしい。」と、今日も双眼鏡を手にオホーツクの海に目を向けています。



観測を次の世代へ



市役所展望室から流水の動きを追う船山さん

profile ふなやま いわお 船山岩雄さん

根室市北斗町（元根室測候所職員）

1946年根室市生まれ。気象庁に45年間勤務し、根室測候所での勤務を最後に2009年退職。趣味は、野鳥観察とパークゴルフ。市民自然ガイド「ねむろトコロジスト」の会長、文化会館主催の「寿大学」副委員長を務める。

千島桜を望む窓

市長室のカレンダー

市役所の4月の始まりはあわただしく、今年も例年と同じく長谷川市長から職員への訓示で、新年度がスタートしました。

訓示の中で長谷川市長は、昨年の発生した東日本大震災の被災地への支援に関する条例を制定し、復興支援や被災者の受け入れ支援等を職員一丸となって行ったことを大変意義深いものになったと、職員をねぎらいました。



根室再興プロジェクトが2年目を迎える今年度、長谷川市長は、市政方針で重点施策として掲げる「根室再興プロジェクトの加速的な展開」「北方領土問題の戦略的施策の推進と強力な返還要求運動展開」「市立根室病院の医療体制の充実と経営健全化への取り組み」「災害に強いまちづくりの推進」の4つの柱を中心に進めていくにあたり、さらなる連携による「オール根室体制」での取り組みが不可欠であると力強く訴え、職員はそれぞれ真剣な面持ちで、市長から訓示を胸に刻んでいました。

市長室の一年もまた新たに始まります。